

会 議 開 催 結 果

1 会議の名称	平成29年度第1回富津市消防委員会
2 開催日時	平成29年8月29日 15時00分～15時50分
3 開催場所	富津市消防防災センター会議室1・2
4 審議等事項	(1) 消防委員長・副委員長の互選について (2) 消火栓用ホース及び格納箱について
5 出席者名	(市議会議員)平野英男、三木千明、諸岡賛陞 (学識経験者)萩野茂、神子義春、高橋勉 (消防関係者)石井輝之、澤田正弘、濱崎正 五月女消防長、宇山総務予防課長、岩崎署長、 鈴木分署長、角田主幹、松本・山口副署長、鈴 木副分署長、庄司課長補佐、篠原副主幹 紫藤主任（書記）
6 公開又は非公開の別	（公開） ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0人（定員5人）
9 所管課	消防本部 総務予防課 総務係 電話0439（88）6402
10 会議録	別紙のとおり

消 防 委 員 会 会 議 録

発 言 者	発 言 内 容
庄司課長補佐	<p><開会></p> <p>定刻となりましたので、始めさせていただきます。 司会進行をいたします、総務予防課の庄司です。 よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、委員の皆様におかれましては、何かとお忙しいところ、御出席をいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>会議に入ります前に資料の確認をさせていただきます。</p> <p><資料確認></p> <p>それでは、ただいまより平成29年度第1回富津市消防委員会を開会させていただきます。</p> <p>議会選出を除く委員の皆様は、平成29年4月1日から2年間、市長より委員を委嘱されました。再任の方もいらっしゃいますが、今年度、初めての委員会となりますので改めまして、委員の皆様を御紹介させていただきます。</p> <p>始めに議会選出の委員でございますが、平野委員でございます。</p> <p>三木委員でございます。</p> <p>諸岡委員でございます。</p> <p>次に、学識経験者の委員でございますが、荻野委員でございます。</p> <p>神子委員でございます。</p> <p>今回委員になられました高橋委員でございます。</p> <p>次に、消防関係者の委員でございますが、消防団から3名が選出されております。団長の石井委員です。</p> <p>副団長の澤田委員です。</p> <p>そして、今回委員になられました副団長の濱崎委員でござ</p>

庄司課長補佐	<p>ございます。</p> <p>次に、職員の紹介ですが、職員につきましては自己紹介とさせていただきます。</p> <p>＜五月女消防長以下、出席職員の自己紹介＞</p> <p>なお、議事に先立ちまして消防長より御挨拶を申し上げます。</p>
五月女消防長	<p>消防委員会開催に当たり、一言御挨拶申し上げます。</p> <p>委員の皆様には公私ともお忙しいところ、平成29年度第1回富津市消防委員会に御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、平素より消防行政の円滑な推進のため、格別なる御支援、御協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、今年の夏は九州北部豪雨災害など、全国各地でこれまでに経験したことがないような集中豪雨により土砂災害が発生し、多くの尊い人命と貴重な財産が失われております。</p> <p>地球規模での温暖化の影響もあるとは存じていますが、近年の災害が複雑多様化、大規模化している中で消防に寄せられる期待は、ますます大きくなっております。</p> <p>市民の安全安心を確保していくため、消防団及び関係機関と連携を図りながら、災害対応力の強化、増大する救急需要への対応など、これまで以上に取り組んでまいりますので、今後とも消防行政の強化、発展に向けて更なる御支援、御助言をいただけますようお願い申し上げますとともに、委員皆様の御健勝と御活躍を御祈念いたしまして、整いませんが挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日は、何卒よろしくお願いたします。</p>

庄司課長補佐	<p>これより議事に入りますが、会議録作成のため録音をさせていただきますので、御承知おきください。</p> <p>それでは、条例第6条第1項の規定により「委員会の会議は、委員長が招集し会議の議長となる。」とありますので、平野委員長よろしくお願いたします。</p>
平野委員長	<p>それでは、早速議事に入りたいと思います。</p> <p>本日の委員会の会議につきましては、富津市消防委員会条例第6条第2項の規定により、委員定数の半数以上が出席されておりますので会議は成立します。</p> <p>最後まで円滑に議事進行ができますよう、御協力をお願いいたします。</p> <p>さて、本委員会は富津市情報公開条例第23条第4項の規定により、会議録の作成が義務付けられておりますことから、会議録署名人を2名指名いたします。</p> <p>お手元に配布してございます消防委員会委員名簿順に指名をしたいと思いますので、今回は三木委員、諸岡委員を指名いたします。</p> <p>これより、議事に入ります。本日の議題は2件です。</p> <p>始めに議題1「委員長・副委員長の互選について」を議題といたします。事務局より説明を求めます。</p>
庄司課長補佐	<p>委員長・副委員長の互選について、御説明いたします。</p> <p>富津市消防委員会条例第5条第1項では、委員長・副委員長は、「委員の互選により定める。」となっております。</p> <p>消防委員の任期は2年ですが、議会選出委員と学識経験者及び消防関係者選出委員の委嘱の任期が1年異なり、議会選出委員3名は昨年度の委嘱、学識経験者及び消防関係者選出委員6名は今年度の委嘱となり、委員が毎年任期満了となることから、年度初回の委員会にて委員</p>

	<p>長・副委員長を選任しております。</p> <p>なお、互選方法に特別決まりはございません。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
平野委員長	<p>事務局の説明は終了しました。</p> <p>始めに、委員長の推薦ですが皆さんいかがいたしまし うか。</p>
諸岡委員	<p>指名推薦でいかがでしょうか。</p>
平野委員長	<p>ただいま、指名推薦の声がありましたがいかがでし うか。</p> <p><異議なしとの声あり></p>
平野委員長	<p>異議ないものと認めます。</p> <p>それでは推薦をお願いします。</p>
諸岡委員	<p>引き続き平野委員にやっていただければと思います。</p>
平野委員長	<p>皆さんいかがでしょうか。</p> <p><異議なしとの声あり></p>
平野委員長	<p>それでは、異議なしというお言葉をいただきました ので、引き続き委員長を務めさせていただきますので、よろ しくお願いいたします。</p> <p>引き続き、挨拶をさせていただきます。</p> <p>ただいま、皆様の推薦により、再び消防委員長に就任さ せていただきました平野英男です。よろしくお願いいたします ます。</p> <p>消防委員会は、「消防に関する重要事項に関すること」</p>

	<p>や「消防団の服務及び待遇に関すること」について調査審議し、その結果を市長に答申することが所掌事務とされております。</p> <p>市民の安全安心のため、皆様とともに富津市の消防行政を運営して行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>簡単ではございますが、挨拶といたします。</p> <p>それでは、引き続き会議を進めさせていただきます。</p> <p>次に、副委員長の互選を行いたいと思います。</p> <p>選任方法について、提案はありますか。</p>
神子委員	<p>委員長と同様、副委員長も指名推薦でいかがでしょうか。</p>
平野委員長	<p>ただいま、指名推薦の声がありましたが、よろしいでしょうか。</p> <p><異議なしとの声あり></p>
平野委員長	<p>異議ないものと認めます。</p> <p>それでは推薦をお願いします。</p>
神子委員	<p>荻野委員に副委員長をお願いしたいと思います。</p>
平野委員長	<p>ただいま、荻野委員を副委員長にという声がありましたがいかがでしょうか。</p> <p><異議なしとの声あり></p>
平野委員長	<p>異議なしと認め、荻野委員に副委員長をお願いしたいと思います。それでは、荻野委員に副委員長として挨拶をお願いします。</p>

荻野副委員長	<p>ただいま、皆様より推薦をいただき副委員長に就かせていただくことになりました荻野です。</p> <p>これから、皆様の御協力をいただきながら平野委員長とともに市民の安全安心のためより一層頑張っていく所存でございます。簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。</p>
平野委員長	<p>よろしく申し上げます。</p> <p>続きまして、議題2「消火栓用ホース及び格納箱について」を議題とします。</p> <p>本件議題については、資料としてお配りしている諮問書をご覧ください。</p> <p>市長から「市内消火栓の付帯設備である消火栓用ホース及び格納箱の今後における維持管理方針について、消防委員会に意見を求めます。」との内容の諮問書が提出されています。</p> <p>事務局より説明を求めます。</p>
宇山課長	<p>それでは、消火栓用ホース及び格納箱について説明させていただきます。</p> <p>ただいま、委員長からお話がありましたとおり、市内の消火栓の付帯設備であります、消火栓用ホース及び格納箱の維持管理の方針について、皆様にお諮りするものであります。</p> <p>市内の消火栓については、昭和46年の市制施行以降、消防本部が設置され管理をしてきました。その間、給水想定人口の増加など水道施設の延伸によって、消火栓の数も増加しました。消防年報の20ページをお開きいただきたいと思います。</p> <p>まず、市内にある消火栓の数を記載しております。上の</p>

段が消火栓、下の段が防火水槽となっています。

今回、皆様に御検討いただく消火栓の数については、富津地区352、大佐和地区249、天羽地区237と計838の消火栓があるうち格納箱が748箇所を設置されており、そのことについてお諮りするものであります。

資料の1枚目ホース格納箱の今後の維持管理についてという資料をご覧ください。

始めに、現状についての説明をさせていただきます。現在、格納箱1箱当たりには65ミリホースが3本、スピンドルドライバーが1本、管そうが1本入っています。場所によっては、ホースが4本入っているところもあります。

市内の格納箱の数は、先ほど説明しました748箱、総数でいいますとホースが2,370本、スピンドルドライバーが748本、管そうが748本でございます。

現在の維持管理方法は、職員によって隔月の点検をしております。修繕費等の予算が特にありませんので、廃棄する格納箱を部品取りして修理するなど対応をします。

その他、地域の消防団の皆さんにも点検を実施していただいていると認識をしています。職員による格納箱点検をこの会議に先立ち、平成27年頃から実施したところ、2,370本のホースのうち1,890本全体の76%になる1,811本が、使用不能というような判断をしたところであります。これは職員によってホースの内部の点検や状況の確認をした判断に基づくものです。使用可能とされた559本のホースについても、設置から年数が経過しているため状況は良い状態ではありません。格納箱の設置数に対して有効活用事例が少ないと記載しておりますが、これは後ほど説明をさせていただきますが、実際に使われてる例が少ないのが現状であります。

そして、その下の段の課題ですが、ホースの劣化が進ん

でいるため放水時の安全性が確保できない、これはどうい
うことかと申しますと、ホースの中に敷かれているゴムが
劣化によりひび割れを起こし破裂の危険性があることか
ら、安全性が確保ができないということで総括させていただ
きます。

また、有効な放水範囲は消火栓から1本当たり20メー
トルのホースを3本繋ぎ、曲がったりすることなどを考慮
して半径50メートルとしています。

このことについて、もう1枚の資料で説明をさせていた
だきます。千葉県地図が書かれている裏面をご覧ください。

市内の一部の場所をピックアップして示しています。

黄色い円については、半径50メートルの円になりま
す。今の説明で課題とさせていただいた半径50メー
トルに限られるようなことは、消火栓がこの黄色い円の数だけ
設置されており、これだけ消火栓があっても黄色い円の範
囲にしかホースが届かないという、簡易的な絵になりま
す。

そして、有効活用事例については、その下に記載させて
いただいております。過去5年間において、平成25年1
月5日と2月26日の2件の初期消火活動が実施された
記録が残っており、5年間で2件の実績が現状です。

それでは、今見ていただいた資料の裏面、県内消火栓ホ
ース格納箱等設置状況についての資料の説明をさせてい
ただきます。この資料は、県内にある31消防本部に照会
をして、管轄区域の消火栓にホース格納箱等があるかない
かを調査した結果となります。消防本部が消火栓ホース格
納箱を設置、維持管理しているのは、県内では富津市だけ
となります。市町が設置、維持管理しているのが、鋸南町
と南房総市の1市1町となります。この会議に先立ち現状

を聞いたところ、設置しているが管理ができていないというような話でありました。

そして、隣の君津市と富里市は、自治会や町内会がホース格納箱を設置し、維持管理をしている状況で全ての町内会ではなく、特定の地域が設置しています。

そして、緑色のところは設置は市町が行い、維持管理は自治会に任せているところであり、館山市、鴨川市や夷隅市で緑色で塗られている箇所となります。

そして、残りのオレンジ色は施策をしていない市町であります。

このような状況の中で格納箱を設置、維持管理をしているのが富津市のみとなります。

1枚目の資料の下段を説明いたします。今、説明したとおり消火栓ホース格納箱そのものは、まだまだしっかりとした物が多くありますが、ホースが劣化をしている状況の中で、今後の方針について諮問ということで皆様から貴重な御意見を伺っていきたく思っております。

事務局としては、今日の会議で結論を出していただきたいということではなく、市民の安全安心に係る重要な内容でございますので、もう一度会議を開いた中で皆様から結論をいただきたいと思っております。今日は、事務局が考えている案について説明をさせていただきます。

まず案1として、格納箱維持管理をこのまま継続する案になります。ホースの耐用年数を業者に確認したところ、概ね10年でありますので10年サイクルで全てを更新しながら進めることとなります。

格納箱につきましては、これまで職員が溶接をしたり板金をしたりして作っていましたが、職員数が減り技術をもった職員も退職していくということで、今後は格納箱の作成ができないため、格納箱につきましても既製品を購入、

設置を業者に委託をするという内容になります。ここに示している金額は、ホース購入費となります。

全て2,370本のホースを30,780円に8パーセントの消費税を含めた価格をかけたものが一番下のホース購入経費72,950,000円でございますので、先ほど説明した10年間の耐用年数で割返して10年に一度交換すると、概ね年間7,300,000円の費用がかかるというのが案1となります。

次に案2の説明をいたします。全ての消火栓用ホースを入れ替えた上で、希望する区に移管する内容となります。これはかかる経費は同じですが、全ての区が希望しますと、単年度で全てのホースを入れ替える案1と同じになりますので、73,000,000円の費用がかかる案となります。

次に案3です。廃止でもなく現状継続でもなく折衷案になるかと思いますが、格納箱は撤去をして自主防災組織に40ミリホース10本を貸与する案となります。自主防災組織の管轄区域が、自治会単位になっていることから、区域の広さは異なりますが、20メートルホース10本で届く範囲が広がります。また、市長が公約で掲げている自主防災組織設置率100パーセントを目指すというところにも、後押しするのではないかと思います。

40ミリホースは多少金額が安くなりますので、65ミリ消火栓から40ミリホースに落とすための差し込み金具と管そうを含めた税込み110,160円、これが組織数分必要となり、最大で115組織と見込み18,921,600円という金額を算定しております。この中には、格納箱撤去費の6,804,000円を含んでおり、撤去の個数が748箇所と多いため、撤去及び廃棄を業者委託す

	<p>るものであります。</p> <p>次に案４になります。これは、全ての格納箱を撤去し、先ほどの千葉県地図にありました未設置の市町と同じ扱いにしようとするものであります。</p> <p>事務局で考えられる案として、案１から案４まで提示をさせていただきました。これに関わらず皆様から貴重な御意見をいただきながら答申をいただければと思います。</p> <p>以上で事務局からの説明を終わります。</p>
平野委員長	<p>事務局からの説明が終わりました。事務局から示された４つの案にとらわれることなく、様々な意見や質問をいただければと思います。</p>
萩野委員	<p>区などで消火栓の取扱い訓練は行われていますか。</p>
岩崎署長	<p>地区の防災会などの依頼で、消火栓取扱い訓練が実施されています。危険を伴いますので実施する際には、消防団員や職員が立ち会い実施をしていますが、以前に比べ実施される回数は多くはありません。</p>
萩野委員	<p>実際に消火栓を使った実績として、平成２５年に２回あった話がありましたが、消火栓は放水時の圧力が強く危険を伴うため、使用することを考えれば訓練が必要だと思いますので、そういったことも含めての検討が必要かと思います。</p>
岩崎署長	<p>先ほどの説明の補足になりますが、自主防災組織の訓練では、消火栓の取扱いよりも消火器の取扱い訓練が多く行われているのが実状です。</p>

<p>神子委員</p>	<p>実際に設置されている消火栓と格納箱の設置されている位置が適正なのか、いつ頃に設置をされたのかなど確実に把握できれば、建物の状況も変わってきていると思いますので、格納箱を廃止できるところは廃止して、必要などころのホースを増やすといった考えもあるかと思imasuので、まずは設置されている格納箱が適正なのかについて検討をしてみたいかがでしょうか。</p>
<p>岩崎署長</p>	<p>格納箱を設置した時期ですが、富津市合併前から設置されていたものを消防本部で継続して管理することになったと認識しております。</p> <p>設置位置については、消火栓がある場所には格納箱を設置をしてきましたので、適正かどうかを見直すことも必要かと思われmasu。</p> <p>消火栓格納箱を設置するからには、安全な管理運用をしなければなりませんので、市民に対して取扱いの指導をしなければなりません。そのためには、万全な資機材を揃えなければいけないという懸案事項も挙がっております。</p>
<p>諸岡委員</p>	<p>3案の40ミリホースをという話がありましたが、火災が発生して仮に市民が付けてしまったところに消防隊が到着した場合、活動に支障はないのでしょうか。</p>
<p>宇山課長</p>	<p>ひとつの案としての提示ですが、皆さんも消防団の経験があり認識されていると思いますが、65ミリホースは大きい口径で重く扱いづらいということで、それだったら屋内消火栓と同じホースの太さで比較的簡単に動かせる、より初期消火にとっていいのではないかということで、40ミリホース10本としています。これは全ての格納箱に置くのではなく、自主防災会で保管していただくということで</p>

	<p>考えています。自主防災会の意見は、現段階では何も聞いていない状況であり、消防本部としての案として出させていただいております。</p> <p>40ミリホースが付いていた場合の消防隊の活動への支障については、一旦放水を停止していただいて、消防隊の65ミリホースに付け替えます。また消防車からも40ミリホースを延ばすことができますので、そのホースを利用して放水するというのも可能だと思っています。</p> <p>補足になりますが、あくまでも40ミリホースは初期消火を念頭に置いての配備となりますので、大規模災害発生して消防車が部署できない時にどうするのかということで、初期消火で市民が扱えるものが40ミリホースではないかということです。</p> <p>また、消火栓を使うときには少なくとも2人の操作員が必要となりますが、40ミリホースだと1人操作が可能ということで、ここでは40ミリホースを提案させていただいております。あくまでも初期消火、大規模災害時に消防隊が現場に行けない時に、市民が使用することを想定した考えとなります。</p>
<p>岩崎署長</p> <p>澤田委員</p>	<p>現状の消火栓格納箱の維持管理を消防署が、主体で行われているということで市の管轄という認識になると思いますが、そこで設備の維持管理が困難で不具合があり、それを使用した市民が怪我をしてしまった場合は、市の管理がいけないということになってしまうと思います。</p> <p>設置するのであれば、維持管理がしっかりでき使用するための指導をしっかりと市民に実施する必要があると思います。</p> <p>案が何件か出ていますが、仮に区が手を挙げたところに</p>

	<p>は区が責任を負って維持管理をするということで、区への説明、承諾が必要になると思います。</p> <p>40ミリホース設置の案については、65ミリホースよりは軽いかもしれませんが、使ったことのない人が40ミリホースを使って怪我をしないためには、訓練が必要だと思います。</p> <p>極論で撤去といと案については、市民の安全安心という意識のところで無くても良いのか、市民が不安を感じるのではないかと思います。</p> <p>今後、私としては現状を維持できれば良いと思うが、そういう点では課題が大きすぎて大変なところがあるので、例えば人が多く住んでるところや集まるところに設置すれば、初期消火として使えるのではと思います。人がいないところほど必要だという意見もあるかとは思いますが、区切りをつけて徐々に減らしても問題ないかと思います。</p>
平野委員長	<p>ただいま、澤田委員から意見がいくつか出ましたが、それに対しての考えがあればお願いします。</p>
澤田委員	<p>参考までに、ホース購入費用はわかりましたが、格納箱を購入したら費用はどのくらいになりますか。</p>
宇山課長	<p>1箱あたり40,000円です。</p>
澤田委員	<p>それが748個必要になるということですかね。</p>
宇山課長	<p>格納箱については、現在9割以上がまだまだ使用できる状況です。若干の補修が必要ところはあるんですが、直ぐに748個を購入する必要がないという判断に基づいて、ホースだけの購入費用を計上してあります。</p>

三木委員	<p>県内地図で未設置の自治体がありますが、未設置に至った経緯がわかれば教えてください。</p>
岩崎署長	<p>以前、他の消防本部に調査したときの話になりますが、比較的消防署が多くある消防本部は、現場へ直ぐに着けるということで格納箱を設置しておらず、初期消火するよりも消防署が現場に行き消火をするほうが早いというような回答でした。</p>
三木委員	<p>消火器の値段はどのくらいになりますでしょうか。</p>
角田主幹	<p>10型という大きさになりますが、ホームセンターで3,000～4,000円くらいで販売されています。</p>
平野委員長	<p>事務局からも説明がありましたが、重要な案件になりますので継続して審議していきたいと思いますので、また気になる点や意見があれば、その都度委員会の場で審議をさせていただきたいと思います。</p> <p>いくつか意見をいただきましたが、本件議題については富津市民の安心安全な生活に影響を与える重要な案件なので、今後もしっかりと審議をし市長への答申をまとめていきたいと思います。</p> <p>以上で、本案の議事を終了いたします。</p> <p>その他、何かございますでしょうか。</p> <p><特になしとの声あり></p>
平野委員長	<p>事務局から何かありますでしょうか。</p>
庄司課長補佐	<p>事務局からは特にございません。</p>

平野委員長	<p>何もないようでしたら会議を終了いたします。</p> <p>委員の皆様におかれましては、円滑な議事進行に御協力をいただきありがとうございました。</p> <p>進行を事務局にお返しいたします。</p>
庄司課長補佐	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上を持ちまして、消防委員会を閉会いたします。</p> <p>< 閉会 ></p>